

# 増加する国民健康保険の医療費

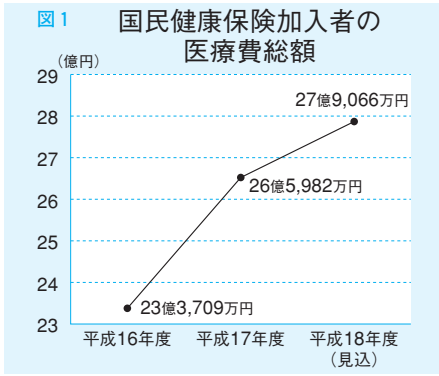
## 不足する国保税を町税で補てん

安心できる「あした」のためにわが国では、すべての人が医療保険に加入し、お金を出し合って医療費にあてることで、誰でも安心してお医者さんにかかることができます。これを国民皆保険制度と言います。

国民健康保険(以下「国保」)は医療保険の一つで、国保税などを主な財源として町が運営し、職場の健康保険の人以外は、すべての人が加入する制度です。

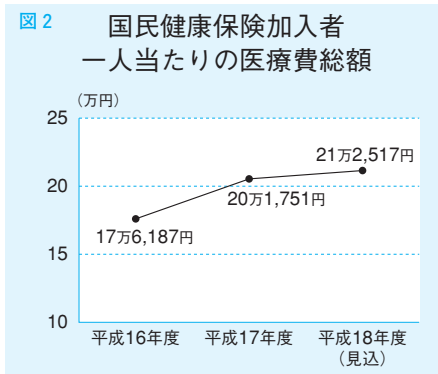
### 増加する医療費

国保加入者の医療費の推移を表したのが図1です。



医療費の動向をみると、平成16年度が23億3,709万円、17年度が26億5,982万円、18年度見込みが27億9,066万円と年々増加しています。

表したのが図2です。



平成16年度が17万6,187円、17年度が20万1,751円(対前年度比14.5%増)、18年度見込みが21万2,517円(対前年度比5.3%増)と、毎年増加しています。

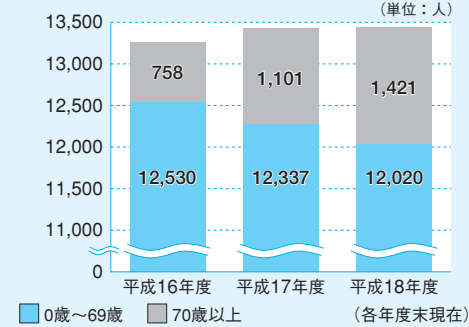
### 一人当たりの医療費

医療費全体からみる国保加入者一人当たりの医療費の推移を表したのが図3です。

### 国保加入者の高齢化が進む

国保加入者の年齢別の推移を表したのが図3です。加入者全体数は、少しずつ増

図3 国民健康保険加入者の年齢別の推移 (単位:人)



加傾向にあります。特に、70歳以上の加入者は、年々増加傾向にあり、平成18年度末現在では1,421人で、17年度末と比較すると320人増加しています。また、加入者全体に占める70歳以上の割合も平成17年度は8.2%に対して、18年度は、10.6%と2.4ポイント増加しています。

### 医療費を減らすために できること

- ① 重複受診は避けましょう  
ひとつの病気で複数のお医者さんにかかることを「重複受診」と言います。お医者さんを変えたと再び初診料がかかるだけではなく、同じような検査をしたり、同じような薬をもらったりと、二重に医療費がかかってしまいます。
- ② 診療時間内にお医者さんにかかりましょう  
診療時間外にお医者さんにかかること、本来の診療費のほかに別料金が加算されます。緊急の場合などのときはやむを得ませんが、診療時間内にお医者さんにかかるようにしましょう。
- ③ 薬を上手に飲みましょう  
お医者さんの指示に従い、適切な用量・用法を守って薬を飲みましょう。
- ④ 健康診断を受けましょう  
生活習慣病などの病気は、かかりはじめに自覚症状がないものがほとんどです。年に1回は定期的に健康診断を受け、病気の早期発見、早期治療を心がけましょう。

### 不足する国民健康保険税

医療費を支払うための大きな財源となっている国民健康保険税の収入額の動向をみると、平成16年度から横ばい状態であり、18年度見込みでは約10億3,289万円となっています。このように、年々増加している医療費を支払うための主な財源である国民健康保険税が不足するため、国保会計に一般会計からの繰入金(町の税金)がますます増加し、利用者負担の適正化が求められています。

### ◎問い合わせ

町民課 ☎内線274



みんなで作る  
元気なまち